



ACCESS

◎車で

JR松江駅より 30分
松江しんじ湖温泉駅より 15分
JR出雲市駅より 60分

◎一畑電車で

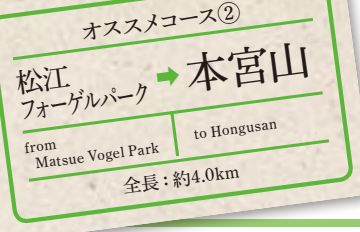


●秋鹿タクシー TEL0852-88-3988



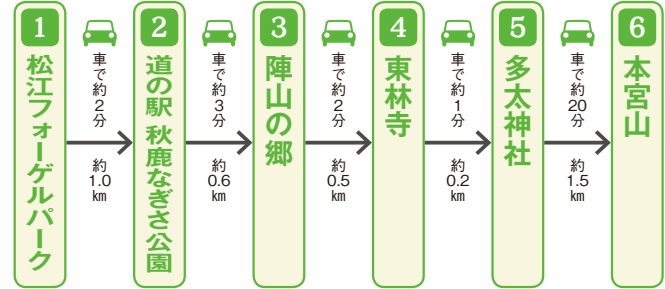
〈編集・発行〉
秋鹿地区わがまち自慢発掘プロジェクト実行委員会

〈連絡先〉
松江市秋鹿公民館
〒690-0262 松江市岡本町70
TEL0852-88-2001 FAX0852-88-3207
http://matsue-city-kouminkan.jp/aika/
平成26年3月発行
令和2年9月改訂



癒しの自然と景観コース

海・山・湖に囲まれた秋鹿地区。
豊かな自然にふれ、美しい景観を楽しむコースです。



1 松江フォーゲルパーク

【まつえふぉーげるぱーく】

世界でも珍しい花と鳥のテーマパーク。国内最大級の規模を誇る室内ガーデンには、一年を通してペゴニア、フクシアなど数千品種が満開の花を咲かせます。園内各所では約90種類、400羽のめずらしい鳥たちに出会え、「ペンギンのお散歩」「フクロウ飛行ショー」「バードショー」などのイベントも見どころです。特徴的な見た目や動かないことで話題の鳥「ハンビロコウ」を展示している、中国地方唯一の施設です。



2 道の駅 秋鹿なぎさ公園

【みちのえき あいかなぎさこうえん】

マリンスポーツが楽しめる珍しい道の駅。湖に向かってヨット、カヌー、ペダルボートで湖に漕ぎ出し、マリンスポーツを楽しむことができ、男女更衣室、シャワー室も備えています。芝生広場は炊事棟もあり、ご家族やグループでディキャンプを楽しむことができます。駐車場にも健康ベンチや足裏ソコを刺激して疲れを取ってもらうための「なぎさの小道」が設けられ、道の駅としても多くの利用者で賑わっています。



3 陣山の郷

【じんやまのさと】

築約200年の豪農屋敷と庭園を中心とした古民家で、当時の様式を色濃く残しています。桜や紫陽花の名所としても知られ、田園風景や宍道湖を望む眺望は、多くの人をひきつけます。近年ではこのロケーションを活かし、カフェや花見、ライブなどの催し物が開かれることもあります。



4 東林寺

【とうりんじ】

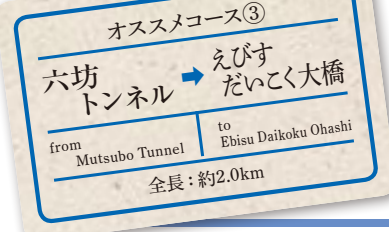
*神社仏閣コースを参照ください。

6 本宮山

【ほんぐやうざん】

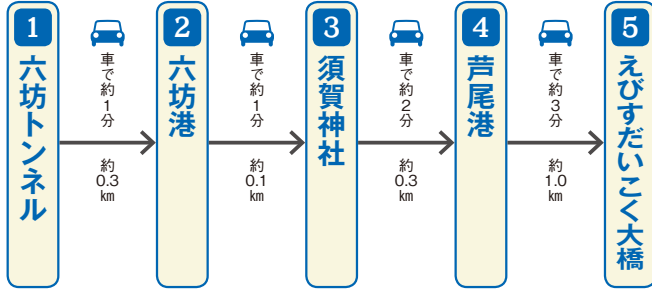


秋鹿地区と大野地区の境にある標高279mの山。出雲国風土記には女心高野という名前で載っており、肥沃の園だとあります。現在でも多くの作物が栽培され、秋鹿ごぼうはとりわけ有名です。ふもとに鎮座する内神社（高野宮）は、この山の山頂にありましたが、この地方の有力者であった大野氏がここに城を築いたために、現在の場所に移ったとされます。ここからの眺めは絶景で、出雲平野から宍道湖中海、日本海を見通すことができ、早朝の雲海や松江市街地の夜景は特におすすめです。



そこは海だったコース

日本海に面した秋鹿の浦地区は、島根半島でよく見られる漁村の風景が色濃く残っています。潮の香りを感じながら、漁港や街並みを巡る散策はおすすめです。



1 六坊トンネル

【むつぽとんねる】

宍道湖北岸を走る国道431号から、北へ5km程ゆるやかな登り坂を進むと、さして特徴もないトンネルが見えてくる。名を六坊トンネルという。わずか約250mの薄暗いトンネルの中ほどにさしかかると、出口の先の景色が徐々に見えてくる。そしてトンネルを出た瞬間、思わず声をあげた。「わあ！海だ！」。目の前に広がっていたのは、雄大な日本海の水平線だった…よく晴れた日にはきっとこんな体験ができるはず。



2 六坊港

【むつぽこう】

六坊トンネルを抜けると、崖のような斜面に貼り付くように密集した六坊集落があり、そのすぐ下の漁港が六坊港です。小さな漁船が係留されている様子は典型的な島根半島の漁村の風景です。集落内には細い路地が迷路のようにはりめぐらされ、潮の香りがただよっています。



3 須賀神社

【すがじんじや】

*神社仏閣コースを参照ください。

4 芦尾港

【あしおこう】

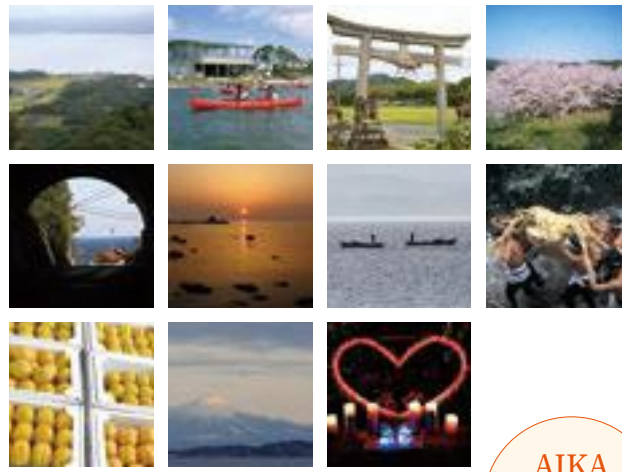
島のなかほどにぽっかりと穴が開き、まるで象の鼻のようにみえる鼻線島を正面に見る漁港が芦尾港です。点在する岩や島と防波堤により港内は穏やかなため、家族つれで釣りや海水浴などのレジャーを楽しむことができます。また、夏には、水平線に沈んでゆく夕日をバックにした島々のシルエットが美しく、完全に日が落ちると、今度は満天の星と漁火が夜を照らします。



5 えびすだいこく大橋

【えびすだいこくおほし】

狭いうえに急な坂道が多かった道路に代わり、平成25年に新しく秋鹿町山中地区と魚瀬町を結ぶ道路を新設したときにできた橋。全長166mの高架橋で、橋のたもとですぐ魚瀬トンネル（全長622m）につながります。



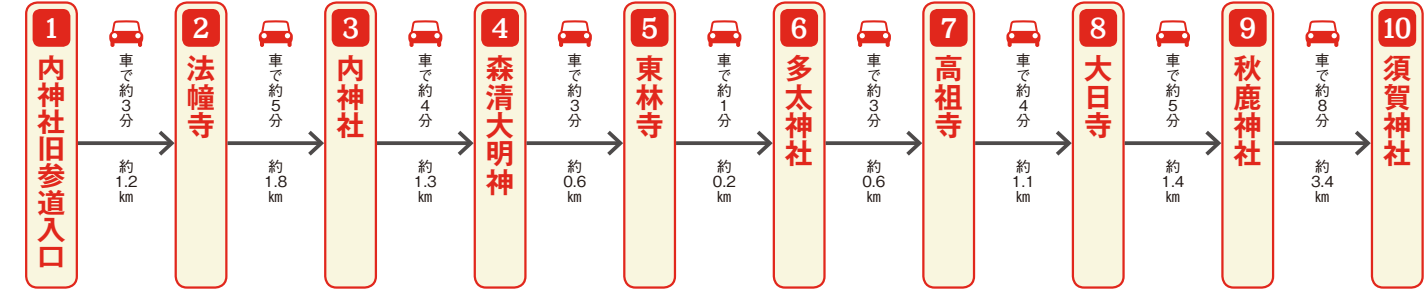
AIKA
GUIDE
MAP

あしか まちあるきマップ



神社・仏閣を巡ろう!!

秋鹿地区にある多くの神社仏閣。
その中でも古い歴史や文化財が存在するところや地域に親しまれているところを中心に紹介します。



1 内神社旧参道入口

【うちじんじやきゅうさんどういりぐち】

一畑電鉄の高ノ宮駅のすぐそばにある鳥居が目印。高ノ宮は内神社の別名で、この鳥居から北へ約3km離れた神社まで続く参道だったとも言われています。



2 法幢寺

【ほうどうじ】

有吉山法幢寺。臨済宗妙心寺派。本尊は華嚴会釈迦牟尼如来。檀家は太田町一円。創建年代は不明ですが、宝暦14年（1764）の記録によると、天正10年（1582）、このあたりを治めていた大野氏の一族である太田秀清が謀殺されたため、菩提寺として建立されたともいわれています。



3 内神社

【うちじんじや】

祭神は和加布都努志命、下照姫命。本殿は県指定文化財。出雲国風土記には宇知社とあり、もとは女心高野山（本宮山）の頂上にあつたと記されています。約1200年前に現在の地に遷座したといわれ、一説には大野氏が築城のため移遷し、本宮山と改称したといえます。古来より有名な神社で、出雲大社や佐太神社の支配も受け、毛利元就による寄進、松江藩主の堀尾氏・松平氏も祈願所としていました。



4 森清大明神

【もりきよだいみょうじん】

祭神は天照大御神。小さなお社ですが、出雲国風土記には阿之牟社と記載されています。地元の崇敬を集めています。



5 東林寺

【とうりんじ】

安穏山東林寺。臨済宗妙心寺派。本尊は聖観音。檀家は岡本町一円。松江市堂形町にある天倫寺を開山した僧を招いて開山し、1600年ごろの創建だとされます。本堂の屋根は宝形づくりといい、美しい形で愛がそびえています。本堂左手には椿の名木（花名「春の幻」）が美しい花を咲かせます。



6 多太神社

【ただじんじや】

祭神は衝梓等乎而留比古命。出雲国風土記には多太社とあり、祭神の衝梓等乎而留比古命が国々を巡ってここに来られた時に、「心が明るく正しくなった、ここに鎮まりたい」と言われたために“多太”というたとえられています。中世には羽鳥大明神とも呼ばれていました。



7 高祖寺

【こうそじ】

金峯山大楽院高祖寺。高野山真言宗。本尊は安阿弥作と伝えられる大日如来。檀家は主に秋鹿町一円。弘法大師の開基と伝えられ、正確な創立年代は不明ですが、千年を経ているという記録が残っています。藩政時代には藩主松平家が造営等に援助を行っているほど有名なお寺です。本尊の大日如来像は約500年前の作であろうとされ、その他にも多くの貴重な品を所蔵しています。



8 大日寺

【だいにちでら】

芦尾山大日寺。高祖寺の奥の院で、創立年代は不明。戦国時代には尼子晴久や毛利元就らが崇敬していたといえます。本尊の大日如来像は約1200年前に作られたとされ、枕山山華蔵寺にある重要文化財の薬師像に匹敵するほどの傑作です。またここで行われる「おもっつあん」は、千年以上の由緒のある伝統行事です。近くには樹齢500年といわれている柿の古木があります。



9 秋鹿神社

【あいかじんじや】

祭神は秋鹿日女命。出雲国風土記には秋鹿社とあり、郡家の北にあつたと記され、秋鹿の地名の起源となった神社です。大日主命が兄弟の八十神にだまされて大やけどを負った際に、秋鹿日女命が介抱して生き返らせたという神話も伝えられています。藩政時代には藩主松平家が造営等に寄進をしています。



10 須賀神社

【すがじんじや】

祭神は須佐之男命、菅田別命、事代主命。六坊地区の氏神須賀神社と芦尾地区の氏神芦尾神社を現在の地に合祀してきた神社です。ここには明治時代の彫刻家荒川竜斎によって作られた須佐之男命の神像が奉納されています。





眼下に広がる
本宮山の雲海



本宮山の頂上からは松江市街、宍道湖、出雲平野、日本海など、ほぼ360度眺望でき、その眺めは絶景です。中でも晩秋から冬にかけての雲海はその白眉です。一面に広がる雲海のはるか遠くには、雲峰大山がうっすらと見え、日の出から数時間は神々しさを感じさせてくれます。年に数回しか見ることができないこの景色は、近隣の住民しか知らない、まさに知られざる絶景スポットです。

美しい姿を誇る
秋鹿の出雲富士



昭和27年、周囲の市町村や知名人によって「宍道湖十景」が選定されました。「秋鹿の出雲富士」は、現在のフォーゲルパークあたりからの大山の眺望がもっとも良いということからこの中に選ばれました。大山を遠くに見やり、穏やかな湖面の上にシジミ漁の舟が浮かぶ様子は、当時の景色とほとんど変わっていないでしょう。

秋鹿の伝統行事
おもつつあん



「おもつつあん」とは「大餅さん」がなまってよばれたもので、正式な名称は「秋鹿大日堂御頭行事」といいます。一番の見所は、直径80cm、重さ130kgの大餅を地区の住民が寒中裸でかついで山を走り下りる「大餅おろし」で、「エンヤ、サッコイ」の掛け声とともに、地区を練り歩く勇壮な姿です。この行事は豊作と無病息災を祈願し大餅を奉納するもので、平安時代から続いており、この寺の大日如来が八雲村の星上山からばくちに負けた腹いせで、大餅を盗んで帰ったという伝説にちなんでいます。「大餅おろし」の他にも、裸で餅をつく「大餅つき」や、ついた大餅をカスラなどで飾る「餅がらみ」などの行事もあり、これを行う本谷・井神地区の人は数ヶ月前から準備に取り掛かります。近年では秋鹿小学校の児童が参加する「子どもおもつつあん」も行われています。

秋鹿の名木
樹齢500年の西条柿



大日堂の周辺は秋鹿地区の特産品の柿畑が広がっています。その中に樹齢500年といわれるとりわけ大きな西条柿の古木があり、幹の周囲が3.2m、枝を広げた面積は300㎡にもなり、全国最大級の大きさを誇ります。今も現役で柿の実をつけ、その収穫量は約450kg、多いときで700kgも採れることがあります。松江市の文化財にも指定されています。

秋鹿のみどころ
calendar

1月	◆高野宮初詣巫女舞	◆秋鹿の出雲富士	7月	◆秋鹿なぎさ公園マリンフェスタ	◆日本海の夕日
2月	◆おもつつあん(大餅つき)	◆おもつつあん(大餅おろし)	8月	◆あいかの里夏まつり	◆芦尾海岸の海水浴
3月	◆宍道湖のシラウオ	◆東林寺の椿	9月	◆日本海の漁火	◆宍道湖の夕日
4月	◆陣山の桜	◆松江フォーゲルパーク駅前の桜	10月	◆秋鹿ごぼう・西条柿収穫最盛期	◆内神社例祭(奉納相撲)
5月	◆宍道湖のしじみ	◆松江フォーゲルパーク	11月	◆秋鹿公民館まつり	◆本宮山の雲海
6月	◆中組地区のホタル	◆ウォーキングイベント(年2回)	12月	◆宍道湖の日の出	◆日本海の磯釣り

買って、食べての秋鹿の特産品
もっと秋鹿を楽しもう!

アラスカ [あらすか]	福吉 [ふくよし]	あきば [あきば]
国道431号沿いにある喫茶店。うな井やシジミ汁など宍道湖の魚介類を使用したメニューもあり、宍道湖の幸を気軽に味わうことができます。 ☎0852-88-3239	国道431号沿いにあるお食事処。漁師でもある店主自らが目の前の宍道湖で取ってきたウナギ・シラウオ・フナなどの料理を楽しむことができます。天然物はその日の漁次第のため、問い合わせが必要です。 ☎0852-88-2028	秋鹿神社近くにある餅屋。自ら生産した秋鹿米を使い、昔ながらの製法で作られ、餅本来の味が楽しめます。定番の白餅をはじめ、よもぎ餅、紅白餅などの商品のほか、縁餅や餅まき用のお餅を注文することもできます。店頭販売はしていないので、問い合わせが必要です。 ☎0852-88-2319
マーケットおもてなし秋鹿 [まーけっとおもてなしあきか]	かわのはた商店 [かわのはたしょうてん]	綿や商店 [わたやしょうてん]
秋鹿町駅の近くにある地元の農産さんが中心になって運営しているお店。秋鹿ごぼうや西条柿など、自ら生産した季節の新鮮な野菜や加工品が豊富に取り揃えています。 ☎0852-88-3100	秋鹿ふれあい団地のすぐそばにある商店。秋鹿地区の産品も店頭に並んでおり、かつて多くいた秋鹿杜氏ゆかりの地酒もそろっています。 ☎0852-88-2018	秋鹿ふれあい団地近くにある商店。西条柿、里芋などの季節の地元産品が店頭に並んでいます。 ☎0852-88-2017
秋鹿町の近くにある地元の農産さんが中心になって運営しているお店。秋鹿ごぼうや西条柿など、自ら生産した季節の新鮮な野菜や加工品が豊富に取り揃えています。 ☎0852-88-3100	秋鹿ふれあい団地のすぐそばにある商店。秋鹿地区の産品も店頭に並んでおり、かつて多くいた秋鹿杜氏ゆかりの地酒もそろっています。 ☎0852-88-2018	秋鹿ふれあい団地近くにある商店。西条柿、里芋などの季節の地元産品が店頭に並んでいます。 ☎0852-88-2017
秋鹿町の近くにある地元の農産さんが中心になって運営しているお店。秋鹿ごぼうや西条柿など、自ら生産した季節の新鮮な野菜や加工品が豊富に取り揃えています。 ☎0852-88-3100	秋鹿ふれあい団地のすぐそばにある商店。秋鹿地区の産品も店頭に並んでおり、かつて多くいた秋鹿杜氏ゆかりの地酒もそろっています。 ☎0852-88-2018	秋鹿ふれあい団地近くにある商店。西条柿、里芋などの季節の地元産品が店頭に並んでいます。 ☎0852-88-2017